

令和5年度 国語科

教科	国語科	科目	現代文B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	改定版「現代文B」 (数研出版)						
副教材等	錬成現代文大学入学共通テスト対策新装版3ステップオリジナル問題集2+(尚文出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・大学や社会に出るにあたり、文章を論理的に読み取り批評したり、自分の考えや思いを人に伝えたりする力を身に付けることを心がけましょう。
- ・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。クラスの人と積極的にコミュニケーションをとりましょう。
- ・小説・評論・随筆・詩歌を読むことを通して、「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。
- ・授業の後には内容を振り返って復習してください。また、現代文はさまざまな知識が必要となりますので、教材に関連する読書をして、学習をさらに深めてください。
- ・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

- ・近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現することができる。
- ・文章を読んで、ものの見方、感じ方、考えを深めることができる。
- ・進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育んでいる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言葉の決まり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	行動の観察 記述の点検 (ノート、ワークシート等)	行動の観察 (発表等のパフォーマンスの評 価)	記述の確認及び分析(ワークシート、原稿用紙)	記述の確認及び分析(ワークシート) 定期考査	行動の観察 記述の確認 (ノート、ワークシート等) 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論の内容を理解するⅠ	教材:『文化が違う』とは何を意味するのか? 「知識社会という幻想」	○	○		◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、意欲的に考察しようとしている。 b:文章の内容について話し合い、自分の考えをまとめることができる。 d:文章の構成を確かめ、筆者の主張の内容を的確にとらえている。 e:現実世界の多様性や、「知」のありかたについて理解している。	行動の観察 記述の確認 定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	教材:「赤い繭」 「朝のヨット」	○			◎	○	a:登場人物らのおかれた状況や行動から積極的に心情把握に取り組んでいる。 d:情景、心情などの記述から、象徴されているものや予兆などを読み取ることができる。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	行動の観察 記述の確認 定期考査
2学期	評論の内容を理解するⅡ	教材:『『である』ことと『する』こと』 「消費されるスポーツ」	○		◎	○	○	a:文章の構成や展開を確かめ、意欲的に考察しようとしている。 c:主張内容を理解した上で、自分の意見を条件にふさわしい表現でまとめることができる。 d:文章に表れている書き手の思考の流れを読み、この文章を書いた理由に迫ろうとしている。 e:近代から現代へと続く歴史的背景を理解している。	行動の観察 記述の確認 定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	教材:「檸檬」	○			◎	○	a:登場人物のおかれた状況などに関心を持ち、心情把握に取り組んでいる。 d:物語の場面に沿って、出来事や登場人物の心情を正しく読み解くことができる。 e:物語の背景や、当時の風習などについて知識をもっている。	行動の観察 記述の確認 定期考査

